

JS研修センター 対面研修

こちらは戸田研修センターで行う対面集合宿泊型の研修です
令和8年度は下記スケジュールでの研修実施を計画しています

※：官民合同研修 ●：新設・リニューアル専攻					
研修科目		回数	研修期間	日数	受講料 (税込)
計画設計	下水道事業入門	1	5月19日(火)	4	130,600円
	下水道計画入門	1	12月7日(月)	5	142,300円
	下水道事業の計画の策定・見直し	1	6月15日(月)	5	142,300円
		2	10月5日(月)	5	142,300円
	下水道の浸水対策	1	6月10日(水)	3	119,000円
		2	7月7日(火)	3	119,000円
	● 総合的な雨水対策(課題と対策)	1	9月8日(火)	4	130,600円
		2	1月12日(火)	4	130,600円
	アセットマネジメント・ストックマネジメント入門(処理場施設編)	1	6月24日(水)	3	119,000円
	アセットマネジメント・ストックマネジメント入門(管路施設編)	1	11月4日(水)	3	119,000円
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(実務編)	1	8月18日(火)	4	130,600円
		2	12月15日(火)	4	130,600円
下水道事業の広域化・共同化	1	2月8日(月)	3	119,000円	
下水道事業における危機管理と災害対策	1	8月19日(水)	3	119,000円	
技術者のための公営企業会計-財務諸表活用法-	1	8月5日(水)	3	119,000円	
経営	下水道の経営	1	10月6日(火)	4	130,600円
	消費税(課題解決型研修)	1	7月14日(火)	4	145,200円
	受益者負担金(課題解決型職場融合研修)	1	9月16日(水)	3	154,000円
	下水道使用料	1	12月2日(水)	3	119,000円
	経営戦略(課題解決型研修)	1	11月4日(水)	3	132,000円
	接続・水酸化促進と情報公開	1	2月16日(火)	3	119,000円
	管きよ基礎	1	5月27日(水)	17	226,200円
実施設計	管きよ設計Ⅰ	1	7月27日(月)	12	198,400円
		2	8月24日(月)	12	198,400円
		3	12月7日(月)	12	198,400円
		4	1月25日(月)	12	198,400円
	管きよ設計Ⅱ	1	6月17日(水)	17	226,200円
		2	8月26日(水)	17	226,200円
		3	10月14日(水)	17	226,200円
		4	11月25日(水)	17	226,200円
		5	1月20日(水)	17	226,200円
	推進工法	1	7月22日(水)	10	177,300円
		2	11月11日(水)	10	177,300円
	管更生の設計と施工管理	1	9月15日(火)	4	130,600円
		2	11月24日(火)	4	130,600円
	設計照査(会計検査)	1	9月28日(月)	5	142,300円
	排水設備工事の実務	1	8月5日(水)	3	119,000円
	処理場設計Ⅰ	1	6月1日(月)	5	142,300円
	処理場設計Ⅱ	1	10月19日(月)	12	198,400円
	処理場設備の設計(機械設備)	1	12月21日(月)	5	142,300円
処理場設備の設計(電気設備)	1	9月29日(火)	4	130,600円	
設備の改築更新	1	2月8日(月)	3	119,000円	
工事監督管理	工事管理	1	6月22日(月)	12	198,400円
維持管理	管きよの維持管理	1	7月6日(月)	12	198,400円
		2	11月9日(月)	12	198,400円
	管きよの点検・調査	1	2月1日(月)	5	142,300円
	処理場管理の基礎	1	5月26日(火)	4	130,600円
	処理場管理Ⅰ	1	6月9日(火)	11	189,000円
		2	10月13日(火)	11	189,000円
		3	1月12日(火)	11	189,000円
	※ 処理場管理Ⅱ(第2回は官民合同研修となります)	1	9月2日(水)	10	177,300円
	2	11月4日(水)	10	177,300円	
	電気設備の保守管理	1	11月17日(火)	3	119,000円
	※ 水質管理Ⅰ	1	9月30日(水)	10	177,300円
	※ 水質管理Ⅱ	1	2月15日(月)	5	142,300円
	事業場排水対策	1	8月19日(水)	10	177,300円
	※ 水処理施設の管理指標の活かし方	1	7月14日(火)	2	60,700円
※ 水質管理のトラブル対応	1	7月16日(木)	2	60,700円	
※ 窒素・りん処理のトラブル原因と対策	1	3月1日(月)	5	142,300円	
●※ 施設設計に反映する維持管理情報の利活用	1	7月8日(水)	2	60,700円	
官民連携	ウォーターPPP入門	1	7月22日(水)	3	119,000円
	ウォーターPPP導入の準備と手続き	1	6月3日(水)	3	119,000円
		2	10月21日(水)	3	119,000円
処理場の包括的民間委託における履行確認	1	10月14日(水)	2	60,700円	

JS研修センター オンライン研修

こちらはZoomを活用して行うライブ形式の研修です
令和8年度は下記スケジュールでの研修実施を計画しています

●：新設・リニューアル専攻					
研修科目		回数	研修期間	日数	受講料 (税込)
基礎 コース	技術者のための「下水道財政と公営企業」	1	6月2日(火)	0.5	16,500円
	知って安心！処理場管理の基本	1	4月24日(金)	0.5	16,500円
	知って安心！下水処理場委託の管理・監督	1	5月19日(火)	0.5	16,500円
	処理場設備の基礎講座	1	5月27日(水)	0.5	16,500円
計画 設計 コース	下水道入門（官民合同）	1	5月29日(金)	1	33,000円
		2	7月15日(水)	1	33,000円
実施 設計	鉄筋構造物と杭基礎のチェックポイント	1	11月24日(火)	1	33,000円
工 事 監 督	開削工法の監督員業務	1	5月21日(木)	1	33,000円
		2	8月3日(月)	1	33,000円
維 持 管 理	省エネ法入門	1	2月16日(火)	1	33,000円
	水処理施設の管理指標の活かし方のチェックポイント	1	2月2日(火)	0.5	16,500円
	水質管理のトラブル対応のチェックポイント	1	2月9日(火)	0.5	16,500円
	窒素処理トラブル解決のための活性汚泥法の考え方	1	12月1日(火)	0.5	16,500円
	りん処理トラブル解決のための活性汚泥法の考え方	1	12月8日(火)	0.5	16,500円
	● 水質管理のトラブルから設計へのフィードバックの考え方	1	1日目 12月15日(火) 2日目 12月22日(火)	0.5 0.5	33,000円
官民 連携	管路施設の包括的民間委託	1	2月10日(水)	1	33,000円

※参加人数によっては、オンデマンド研修に変更させていただく場合がございます。

JS研修センター オンデマンド研修

こちらは研修動画をお好きなタイミングで視聴可能な研修です
令和8年度は下記研修の配信を計画しています

コース	専攻名	視聴時間 (時間)	配信期間	受講料 (税込)
計 画 設 計	下水道施設の計画・設計・施工に役立つ下水道B I M/C I M入門 (前編)	1.5	8日間	8,800円
	下水道施設の計画・設計・施工に役立つ下水道B I M/C I M入門 (後編)	1.5	8日間	8,800円
	下水道施設の計画・設計・施工に役立つ下水道B I M/C I M入門 (前編・後編)	3	8日間	16,500円
	技術者が知っておきたい経営戦略と事業マネジメントの基本	5.5	8日間	30,800円
経 営	受益者負担金入門 (仕組・法令編)	3	8日間	16,500円
	受益者負担金入門 (実務編)	3	8日間	16,500円
	受益者負担金入門 (徴収編)	3	8日間	16,500円
	決算書作成仕上げの総点検 (講義編)	2	8日間	11,000円
	消費税 申告書作成のチェックポイント	2	8日間	11,000円
	下水道経営入門 (法令編)	2.5	8日間	14,300円
	下水道経営入門 (財政編)	3	8日間	16,500円
	下水道使用料 (基礎)	4.5	8日間	25,300円
	滞納対策 (基礎)	4.5	8日間	25,300円
	消費税 (基礎)	4.5	8日間	25,300円
	企業会計 予算書作成	4.5	8日間	25,300円
	企業会計 決算書作成	6	8日間	33,000円
	決算と消費税	6	8日間	33,000円

※動画のリニューアル等により、申し込みが一時期できない場合があります。詳細な日程は決まり次第HPに掲載します。

JS研修センター 地方研修 【経営セミナー】

こちらは各地域の会場で行う対面集合型の研修です
令和8年度は下記スケジュールでの研修実施を計画しています

コース名	会場名	下水道経営セミナー	回数	研修期間	日数	受講料 (税込)
経営	戸田	企業会計入門	1	4月頃	1	30,000円
		受益者負担金	1	4月頃	1	30,000円
		下水道使用料改定	1	4月頃	1	30,000円
	福岡	受益者負担金	1	4月頃	1	30,000円
		下水道使用料改定	1	4月頃	1	30,000円
		滞納対策	1	4月頃	1	30,000円
	神戸	下水道使用料改定	1	5月頃	1	30,000円
		滞納対策	1	5月頃	1	30,000円
	名古屋	企業会計入門	1	6月頃	1	30,000円
		下水道使用料改定	1	6月頃	1	30,000円
		滞納対策	1	6月頃	1	30,000円
	岡山	企業会計入門	1	6月頃	1	30,000円
		決算と消費税入門	1	6月頃	1	30,000円
	神戸	企業会計入門	1	7月頃	1	30,000円
		決算と消費税入門	1	7月頃	1	30,000円
	仙台	企業会計入門	1	7月頃	1	30,000円
		受益者負担金	1	7月頃	1	30,000円
		下水道使用料改定	1	7月頃	1	30,000円
	福岡	企業会計入門	1	7月頃	1	30,000円
		決算と消費税入門	1	7月頃	1	30,000円
	長野	企業会計入門	1	8月頃	1	30,000円
		決算と消費税入門	1	8月頃	1	30,000円
	福岡	企業会計 予算書作成	1	10月頃	1	30,000円
	戸田	企業会計 予算書作成	1	11月頃	1	30,000円
岡山	企業会計 決算書作成	1	1月頃	1	30,000円	
	決算と消費税	1	1月頃	1	30,000円	
戸田	企業会計 決算書作成	1	1月頃	1	30,000円	
	決算と消費税	1	1月頃	1	30,000円	
仙台	企業会計 決算書作成	1	2月頃	1	30,000円	
	決算と消費税	1	2月頃	1	30,000円	
福岡	企業会計 決算書作成	1	2月頃	1	30,000円	
	決算と消費税	1	2月頃	1	30,000円	
名古屋	企業会計 決算書作成	1	3月頃	1	30,000円	
	決算と消費税	1	3月頃	1	30,000円	

※日程は、現時点での計画予定です。実際の会場手配の状況により開催日が変更となることがあります。

JS研修センター 地方研修 【維持管理セミナー】

こちらは各地域の会場で行う対面集合型の研修です
令和8年度は下記スケジュールでの研修実施を計画しています

コース名	会場名	維持管理セミナー	回数	研修期間	日数	受講料 (税込)
維持管理 コース	福岡	求められる下水道管路施設の維持管理	1	6月頃	1	30,000円
		基礎から学ぶ処理場の維持管理	1	6月頃	1	30,000円
	盛岡	求められる下水道管路施設の維持管理	1	6月頃	1	30,000円
		基礎から学ぶ処理場の維持管理	1	6月頃	1	30,000円
	長野	求められる下水道管路施設の維持管理	1	7月頃	1	30,000円
		基礎から学ぶ処理場の維持管理	1	7月頃	1	30,000円
	岡山	求められる下水道管路施設の維持管理	1	7月頃	1	30,000円
		基礎から学ぶ処理場の維持管理	1	7月頃	1	30,000円
	神戸	下水処理場の包括的民間委託の基礎知識	1	8月頃	1	30,000円
	仙台	下水処理場の包括的民間委託の基礎知識	1	9月頃	1	30,000円
	名古屋	求められる下水道管路施設の維持管理	1	9月頃	1	30,000円
		基礎から学ぶ処理場の維持管理	1	9月頃	1	30,000円
	福岡	下水処理場の包括的民間委託の基礎知識	1	10月頃	1	30,000円
	熊本	求められる下水道管路施設の維持管理	1	11月頃	1	30,000円
		基礎から学ぶ処理場の維持管理	1	11月頃	1	30,000円
	京都	求められる下水道管路施設の維持管理	1	12月頃	1	30,000円
基礎から学ぶ処理場の維持管理		1	12月頃	1	30,000円	
下水処理場の包括的民間委託の基礎知識		1	12月頃	1	30,000円	

※日程は、現時点での計画予定です。実際の会場手配の状況により開催日が変更となることがあります。

令和8年度研修コース別教科内容(案)

【研修センターで実施する全寮制のコースです】

研修センター(埼玉県戸田市)で実施するものとして、以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間(日)	研修対象者	教科内容	研修成果
計 画 設 計	下水道事業入門	4	新たに下水道に携わる事務職及び技術職	1. 下水道処理施設、排水施設の基礎 2. 下水道財政と課題 3. 下水道法と関連法規 4. 施設研修	下水道事業の基礎知識を得て、事業全般の概要を把握する。
	下水道計画入門	5	新たに下水道事業の計画に携わる技術職員・事務職員	1. 下水道事業を取り巻く最近の状況及び政策動向について解説 2. 計画汚水量・雨水量算定等下水道計画の基本事項について解説 3. 施設研修 4. 事業計画手続きの事例解説	計画汚水量・雨水量など下水道計画の基本事項を理解したうえで、新たな下水道事業計画の考え方について学び、演習・ディスカッションを通じて、実務能力の向上を図る。
	下水道事業の計画の策定・見直し	5	下水道事業の計画の策定・見直しを担当する職員	1. 管路における基本的計画の解説 2. 水処理・汚泥処理における計画策定の解説 3. 下水道経営の現状と課題 4. 下水道事業計画に関する諸課題についてのディスカッション	経営・法律など下水道事業の基礎を理解したうえで、持続可能な下水道事業を進めるために必要な下水道事業計画に学び、演習・ディスカッションを通じて、実務能力の向上を図る。
	下水道の浸水対策	3	下水道における浸水対策に関する知識の習得を希望する職員	1. 雨水整備事業及び流域治水関連法の概要 2. 雨水対策事業の事例解説 3. 下水道における雨水排除計画及び演習 4. 雨水流出シミュレーション解析の解説と演習	下水道における都市浸水(内水)対策に関する施策や法律の概要に関する知識を習得し、計画の立案や流出解析の手法を理解し、ハードからソフトまでの具体的な取り組みについて学ぶ。
	総合的な雨水対策(課題と対策)	4	雨水管理総合計画の策定のほか、雨水対策事業の実施に関わる職員	1. 雨水整備事業及び流域治水関連法の概要 2. 雨水管理総合計画の策定についての事例紹介 3. 浸水対策に関する諸課題についてのディスカッション 4. 下水道における雨水排除計画及び演習 5. 管きよ・貯留施設の計画策定及び演習 6. 雨水流出解析シミュレーションの解説と演習	雨水対策事業の概要を確認したうえで、他都市の事例や浸水シミュレーションを使い既存ストックの活用した浸水対策の検討やハザードマップの作成方法について学び、演習・ディスカッションを通じて、実務能力の向上を図る。
	アセットマネジメント・ストックマネジメント入門(処理場施設編)	3	下水道の実務経験が浅く、下水道処理場のアセットマネジメントの導入に関する知識の習得を希望する職員	1. アセットマネジメントとストックマネジメント支援制度について解説 2. 施設情報の効率的な収集と整理に関するポイントを解説 3. リスク、コスト、機能のバランスの取れた効率的なマネジメントのための、データの収集、蓄積と活用について解説 4. 効率的な点検・調査計画を構築するための手法等について解説 5. ストックマネジメント演習	厳しい財政状況のなかで膨大な下水道施設を適正・効率的に管理していくために、アセットマネジメント・ストックマネジメント導入のための基礎的な知識を学び、データの収集・蓄積と活用方法について学ぶ。
	アセットマネジメント・ストックマネジメント入門(管路施設編)	3	下水道の実務経験が浅く、下水道管路施設のアセットマネジメントの導入に関する知識の習得を希望する職員	1. アセットマネジメントとストックマネジメント支援制度について解説 2. 施設情報の効率的な収集と整理に関するポイントを解説 3. 管路施設のストックマネジメントに関する事例紹介 4. 下水道管路管理の要点と効率化に向けた最近の取り組み 5. ストックマネジメント演習	厳しい財政状況のなかで膨大な下水道施設を適正・効率的に管理していくために、アセットマネジメント・ストックマネジメント導入のための基礎的な知識を学び、データの収集・蓄積と活用方法について学ぶ。
	アセットマネジメント・ストックマネジメント(実務編)	4	下水道事業のアセットマネジメントに関心のある職員や下水道施設の計画等を担当し、下水道施設のストックマネジメント計画を理解したい職員	1. アセットマネジメント導入の必要性と基本的な考え方及びストックマネジメント支援制度について解説 2. アセットマネジメント・ストックマネジメントの導入・実践に際しての課題の整理 3. 下水道管きよのストックマネジメント手法について解説 4. 下水道処理場、ポンプ場のストックマネジメント手法について解説 5. アセットマネジメントの先進事例紹介	財政面、体制面等の制約条件下において下水道事業を効率的に実施していくための取組みであるアセットマネジメント・ストックマネジメントについて、それらを導入するための動機付けと実践していくための知識等を習得する。
	下水道事業の広域化・共同化	3	下水道の広域化の導入を担当する職員	1. 下水道事業における現状及び今後の課題とそれらへの対応策としての広域化等に関する政策的な取り組み、今後の国の動向について解説 2. 経営面から見た広域化導入への課題の整理 3. 広域化への取り組みについての先進事例の紹介	広域化・共同化の導入について理解するとともに、下水道施設と農業集落排水施設等との維持管理の共同化、広域的な連携を目指した協議会制度の活用等の事例を通じて広く知識を習得する。
	下水道事業における危機管理と災害対策	3	地方公共団体職員で下水道の危機管理対策に従事する職員	1. 危機管理対策に関連した今後の下水道事業のあり方について解説 2. 震災の発生から初動・先遣と管きよの一次・二次調査について実例を交えて解説 3. 下水道のBCPの策定についての事例解説 4. 下水道BCP図上訓練体験	具体的な事例の紹介・解説を通じて、大規模地震や浸水等への備えと災害発生時及びその後の対応等について学ぶとともに下水道業務継続計画に基づく図上訓練を一部体験し、下水道事業における危機管理に関する理解を深める。
技術系職員のための公営企業会計－財務諸表活用法－	3	公営企業会計の基本的な知識を学びたいと考える技術系職員(事務系職員も可能)	1. 財務諸表と経営指標の解説 2. 財務諸表を用いた経営状況の分析 3. 財務運用上の目標設定、資産管理の適切な管理、セグメント分析等の活用方法を解説 4. マネジメントサイクルを実践しながら、下水道事業の経営のあり方について解説	財務諸表の知識、読み解く力を学び、今後の経営計画や経営戦略策定・改定に反映させることができる。	

令和8年度研修コース別教科内容（案）

【研修センターで実施する全寮制のコースです】

研修センター（埼玉県戸田市）で実施するものとして、以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間 (日)	研修対象者	教科内容	研修成果
経営	下水道の経営	4	下水道事業の経営全般に関する基礎的な知識を習得しようとする職員	1. 下水道の建設、維持管理費用と財源及び受益者負担金制度、類似施設との比較について解説 2. 下水道使用料・受益者負担金算定の基本的考え方について解説 3. 消費税の仕組み、課税区分、特定収入等、消費税の算定方法について解説 4. 経営・資産等の状況の正確な把握する財務諸表等について解説	下水道の経営について理解するとともに、多くの事例を通じ、経営に役立つ知識を習得することができる。
	消費税 (課題解決型研修)	4	消費税の実務に携わり消費税の算定、申告事務を担当する職員で自治体における消費税の課題を解決したい職員	1. 消費税に関する現状と問題点における対応について解説 2. 公営企業会計における消費税の取扱いについて解説 3. 消費税の算定と申告の実例について解説 4. 参加者が抱える消費税に関する諸問題に関する討議	地方公共団体等の特別会計においては、一般事業者と異なり消費税の申告において様々な特例があり、この特例を理解し適切な納税を行う必要があります。そのため、消費税の実務担当者は様々な場面で問題点に直面することが多く、問題解決に必要な視点・手法を実践的に習得できるよう、少人数で課題を解決していく講座です。
	受益者負担金 (課題解決型職場融合研修)	3	下水道の受益者負担金等の算定及び徴収業務を担当する職員で自治体における受益者負担金の課題を職場の担当者と共に解決したい職員	1. 受益者負担金に関する問題点と現状における対応について解説 2. 受益者負担金に関する課題解決討議 3. 研修生の職場とオンライン接続し、受益者負担金の課題解決	受益者負担金の「徴収漏れ」、「誤徴収」、法令に根拠のない「徴収猶予」や「減免」等は、不適切な事務処理が生じています。また、時効による徴収不能等多くの問題点があります。そのため、研修に参加した研修生と研修生の担当部署（組織全体）で問題解決力を高めるために、職場とオンラインで結び、課題解決力を高める融合型の講座です。少人数で課題を解決していく講座です。
	下水道使用料	3	下水道使用料の算定業務を担当する職員	1. 下水道使用料に関する問題点と現状における対応について解説 2. 下水道使用料算定のポイント解説 3. 下水道使用料の算定演習 4. 実例を交えて下水道使用料の算定を学ぶ	下水道使用料の仕組みについて理解するとともに、事例研究や算定演習を通じて広く知識を取得し、使用料算定業務について学ぶ。
	経営戦略 (課題解決型研修)	3	下水道事業の経営戦略の策定・改定を担当する職員で自治体における経営戦略の課題を解決したい職員	1. 経営戦略の策定に関する問題点と現状と課題について解説 2. 経営戦略の策定に関する課題解決討議	地方公共団体においては、下水道事業のあるべき姿を実現するために「経営戦略を策定」し、経営健全化の視点を持ちつつ、質の高い下水道サービスを将来にわたって安定的に提供できることを目指してしています。そのため、経営戦略策定の実務担当者は様々な場面で問題点に直面することが多く、問題解決に必要な視点・手法を実践的に習得できるよう、少人数で課題を解決していく講座です。
	接続・水洗化促進と情報公開	3	下水道普及促進や接続・水洗化を進めるための広報活動や受益者負担金、使用料等について住民への周知を担当する職員	1. 接続率向上に関する問題点と現状における対応について解説 2. 接続率向上に寄与できる主な方策について解説 3. 市町村の接続・水洗化促進を進めるための事例解説など	下水道の広報活動について理解するとともに、講義や事例を通して広く情報公開のあり方について学ぶ。
実施設計	管きよ基礎	17	はじめて下水道の実務を行うことになり、開削工法による管きよの設計技術の習得を希望する職員（土木職以外も含む）	1. 下水道の基礎的な知識に関連する用語の解説 2. 汚水・雨水の流量計算、管きよの断面・勾配の決定等の演習 3. 設計上必要な路線測量・水準測量を実習し、設計図を作成 4. 流量計算・測量等の成果に基づいて、枝線管きよの実施設計の演習を行ない、成果品を提出	下水道管きよ設計の基礎知識を得て、開削工法による管きよ工事の設計ができる。
	管きよ設計Ⅰ	12	下水道の実務経験が浅く、開削工法による管きよの設計技術の習得を希望する職員（土木職以外も含む）	1. 下水道全般の基本的解説 2. 管きよ施設の種類、基礎工の選定等に関する解説と演習 3. 開削工法における土留め工法の解説 4. 現場踏査と設計図の作成演習など	下水道管きよ全般の基礎知識を得て、開削工法による管きよ工事の設計図書が理解できる。
	管きよ設計Ⅱ <指定講習>	17	2. 5年以上の関連インフラ（下水道、上水道、工業用水道、河川、道路）の実務経験を有し、その内1. 5年以上の下水道の実務経験を有する職員、または同程度の技術を有する職員で、管きよ設計技術の習得を希望する職員	1. 下水道計画、耐震設計、管路施設の実施設計の問題点と解決方法 2. 管きよ工事における施工方法及び補助工法の選定における基本的な考え方を解説 3. 推進工法の積算演習など	下水道法第22条に定める管きよ設計の資格者として適切な工法の決定及び設計ができる。（下水道法施行規則第17条6号による指定講習）

令和8年度研修コース別教科内容（案）

【研修センターで実施する全寮制のコースです】

研修センター（埼玉県戸田市）で実施するものとして、以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間 (日)	研修対象者	教科内容	研修成果
実施設計	推進工法	10	下水道の実務経験を有し、小口径管及び中大口径管推進工法の設計に関する知識・技術の習得を希望する職員	1. 推進工法の特徴と採用の留意点及び土質、施工環境等の条件による最適工法の選択を解説 2. 推進工法設計時における調査・工法及び管種の選定、管きよに及ぼす土圧、推進力、支圧壁の考え方の解説 3. 設計積算演習など	小口径管及び中大口径管推進工法全般について理解し、設計及び積算を行うことができる。
	管更生の設計と施工管理	4	下水道の実務経験を有し、管きよの改築に関する知識と技術の習得を希望する職員	1. 管きよの調査・点検・診断及び管きよの長寿命化・改築更新計画の考え方について解説、および最新の修繕・改築工法と工法選定について解説 2. 反転・形成工法と設計積算の解説と演習 3. 更生工法の施工管理上の留意点と新技術の紹介など	管きよ更生全般について理解し、管更生の設計・積算及び施工管理を行うことができる。
	設計照査(会計検査)	5	会計検査を受検予定の職員、または土木職等の方で、土木構造物設計の設計照査等を行う職員	1. 会計検査の役割と最近の検査報告の解説 2. 鉄筋コンクリート構造物における照査方法と事例解説 3. 下水道施設、地盤改良工法、及び管きよ構造物の設計照査の事例解説	実施設計における設計照査を習得し、設計成果品等の検収を適切に行い、会計検査に対応できる。また複雑な土木構造物設計の設計照査について、理解を深める。
	排水設備工事の実務	3	新たに排水設備の担当になった職員	1. 排水設備の概要と施設の設計を解説 2. 排水設備の設計演習 3. 排水設備工事責任技術者指導のポイントを学ぶ	排水設備全般にわたる知識を習得し、排水設備指定工事店への適切な指導ができる。
	処理場設計Ⅰ	5	下水道の実務経験が浅く、基本的な処理場設計技術の習得を希望する職員	1. 水処理及び汚泥処理の施設設計の基礎について解説 2. 高度処理の各処理法と施設設計の基礎について解説 3. 水処理・汚泥処理施設(場内ポンプ場、管理棟、最初・最終沈殿池、反応タンク、濃縮タンク、消化タンク等)の容量計算及びグループ演習	処理場の基礎知識を得て、設計業務に携わることができる。
	処理場設計Ⅱ <指定講習>	12	5年以上の関連インフラ(下水道、上水道、工業用水道、河川、道路)の実務経験を有し、その内2.5年以上の下水道の実務経験を有する職員、または同程度の技術を有する職員	1. 水処理・高度処理・汚泥処理技術の動向と課題について解説 2. 施設の高度処理対応と改築対象物・改築計画・長寿命化計画などの改築計画の解説 3. 処理施設の設計に必要な水理と水位計算演習 4. 処理場施設における水処理、汚泥処理施設の設計及び演習と施設配置計画	下水道法第22条に定める処理場又はポンプ場の設計の資格者として、コンサルタントを指導し実施設計ができる。(下水道法施行規則第17条6号による指定講習)
	処理場設備の設計 (機械設備)	5	下水道に関する基本的な知識を有し、下水処理場の機械設備の設計を担当する職員	1. 下水処理場の概要と機械設備設計の基礎知識の解説 2. 機器承諾及び設備施行管理における留意点、耐震強度などのチェックポイント 3. 処理場・ポンプ場における機械設備工事の積算体系解説及び積算演習、会計実地検査について解説	ポンプ場及び処理場の機械設備の設計ができる。
	処理場設備の設計 (電気設備)	4	下水道に関する基本的な知識を有し、下水処理場の電気設備の設計を担当する職員	1. 下水処理場の概要と電気設備設計の基礎知識 2. 処理場・ポンプ場における電気設備の積算演習 3. 受変電設備の容量計算実務	ポンプ場及び処理場の電気設備の設計ができる。
工事管理監督	設備の改築更新	3	処理場・ポンプ場の計画・設計・維持管理を担当する職員	1. 機械・電気設備の改築更新計画のポイントの解説 2. 機械・電気設備の改築の立案と留意点の解説 3. 改築更新事例の解説	処理場・ポンプ場設備の改築更新計画の立案を行うことができる。
	工事管理 <指定講習>	12	2.5年以上の関連インフラ(下水道、上水道、工業用水道、河川、道路)の実務経験を有し、その内1.5年以上の下水道の実務経験を有する職員、または同程度の技術を有する職員	1. 地盤改良工法の概要及び土留め工法の技術概要と施工管理の留意点 2. コンクリート配合設計の演習とコンクリート施工管理のポイント 3. 土質試験に関する各種試験の実習と施工等におけるデータの活用の仕方 4. 工事管理手法と工程管理の演習	下水道法第22条に定める工事監督の資格者として、工事管理を行う際に必要となる知識や技術を取得し、工事現場の適切な管理と指導ができる。(下水道法施行規則第17条6号による指定講習)

令和8年度研修コース別教科内容（案）

【研修センターで実施する全寮制のコースです】

研修センター（埼玉県戸田市）で実施するものとして、以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間 (日)	研修対象者	教科内容	研修成果
維持管理	管きよの維持管理	12	管路施設の維持管理を担当する職員	1. 管路施設の維持管理を概説し、現場で発生するトラブルの対応事例について解説 2. 管路施設の調査点検・診断の解説と機材を用いた実習 3. 排水設備の設計演習並びに指導、検査方法および排水設備と管路施設の維持管理との関わりについて解説 4. 管路施設のしゅんせつ・清掃の判定基準の解説と積算演習	管路の維持管理及び点検・調査計画、排水設備の設置、不明水対策等下水道整備区域全般にわたる管路施設の適切な維持管理ができる。
	管きよの点検・調査	5	管路施設の維持管理を担当する職員	1. 管きよの点検・調査計画 2. 管きよの保全実務 3. 管路施設の詳細調査、点検・診断の解説と実習	管路の維持管理及び点検・調査計画、不明水対策等下水道整備区域全般にわたる管路施設の適切な維持管理ができる。
	処理場管理の基礎	4	処理場の維持管理を担当する職員で経験の浅い方	1. 下水処理場の維持管理の概要と基礎知識の解説 2. 水処理及び汚泥処理の原理と特徴の解説 3. 処理場設備（機械・電気設備）の管理と保全の概説	下水処理の用語及び処理場のしくみなど、処理場を維持管理（監督業務を含む）するための基本的事項全般を学ぶ。
	処理場管理 I	11	処理場の維持管理を担当する職員で、基本的な知識・技術の習得を希望する職員	1. 水処理、汚泥処理の原理と特徴の解説 2. COD、透視度、MLSSならびに汚泥等の日常管理項目の分析 3. 機械・電気設備の維持管理における基本的事項 4. 水質実習、電気回路実習、汚泥脱水実習など	処理施設を把握し、実習を通して処理場の維持管理技術を習得できる。
	処理場管理 II <指定講習>	10	5年以上の関連インフラ（下水道、工業用水道、し尿処理施設）の実務経験を有し、その内2. 5年以上の下水道の実務経験を有する職員または同程度の技術を有する職員	1. 処理場における水質管理及び汚泥管理の実際と異常時対策 2. 水質及び設備トラブル対応の解説 3. 処理場管理運営の実例について研究 4. 電気回路実習、ポンプ実習など	下水道法第22条に定める処理場及びポンプ場の維持管理資格者として業務に従事することができる。（下水の処理開始の公示事項等に関する省令第2条の2第6号による指定講習）
	電気設備の保守管理	3	処理場の維持管理担当職員で電気設備の管理に関する専門の知識・技術の習得を希望する職員	1. 電気設備の管理について解説 2. 電気設備の保護継電器試験実習 3. 処理場設備保守点検委託の概要など	処理場・ポンプ場の電気設備の管理について専門の知識・技術が習得できる。
	水質管理 I	10	処理場の水質管理を担当する職員及び処理場設備の保守管理を担当する職員	1. 水処理・汚泥処理の基礎と理論 2. 水質実習 3. 水質管理演習	処理場の維持管理に必要な水質分析及び水質管理に関し、維持管理業務受託者に対し、水質管理の助言、指導ができる。
	水質管理 II	5	処理場の水質管理を担当する職員	1. 水質トラブルへの対応について解説 2. 水質管理理論（生物相からみた下水処理） 3. 窒素、りん処理管理演習など	高度処理を中心として処理場の水質管理を充実させるとともに、水質管理上発生する諸問題について、理論的考察に基づき原因を究明して適切な対策処置をとることができる。

令和8年度研修コース別教科内容（案）

【研修センターで実施する全寮制のコースです】

研修センター（埼玉県戸田市）で実施するものとして、以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間 (日)	研修対象者	教科内容	研修成果
維持管理	事業場排水対策	10	事業場の排水の指導・検査を担当する職員	1. 事業場排水指導の概要 2. 有害物質、重金属含有排水の処理及び分析の実習 3. 事業場排水指導の実務演習	事業場排水及び除害施設の検査・監督指導ができる。
	水処理施設の管理指標の活かし方	2	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 活性汚泥法の浄化原理 2. 反応タンクで用いる代表的な管理指標について解説 3. 汚泥返送比、MLSS、SRTなど各指標値の設定と水処理への効果予測の演習 4. 運転計画作成演習	活性汚泥法の反応タンクの管理指標と活用方法について学ぶ。また汚泥返送比、MLSS、SRTなどが及ぼす水処理への効果を理解する
	水質管理のトラブル対応	2	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 水質管理と処理場設計諸元の関係性、重要性について解説 2. 下水処理におけるトラブルの発生原因と対策について解説 3. 水処理のトラブルの事例と対策について解説など	活性汚泥法において発生する水処理及び汚泥処理トラブル対策について学ぶ。
	窒素・りん処理のトラブル原因と対策	5	処理場の水質管理を担当する職員	1. 生物による水処理管理の理論 2. 窒素、リン処理の実験 3. 実験考察と生物代謝 4. 窒素、りんの処理方法の再構築	窒素、リンの処理実験から効率的な窒素・りん処理管理とトラブル対策について学ぶ。
	施設設計に反映する維持管理情報の活用	2	下水処理場の運転管理、設備管理、水質管理を担当する職員	1. 処理場設計諸元 2. 運転管理トラブル概説 3. 運転管理で対応できるトラブル 4. 運転管理で対応できないトラブル	処理場設計担当に対し、理論的に施設改善要望を立案することができる。
官民連携	ウォーターPPP入門	3	下水道分野における「官民連携(W-PPP)」に関心のある職員	1. 下水道分野における官民連携に関する国の動向とウォーターPPPの推進にむけた留意点等について解説 2. 管路施設の包括的民間委託の導入事例の紹介 3. 下水道分野におけるPFI(コンセッション方式)導入事例から履行確認事例 4. 下水道分野における管路施設の包括的民間委託の導入支援事例	下水道分野における官民連携及びウォーターPPPの動向、導入事例紹介などからウォーターPPPを学ぶ
	ウォーターPPPの導入の準備と手続き	3	下水道分野における「官民連携(ウォーターPPP)」の導入に関する事務に従事する職員	1. 適なウォーターPPP手法の選択、選択手法の簡易な評価に関する解説 2. PPP手法の決定に関する解説 3. 民間事業者の参加資格要件、事業者選定基準・評価に関する解説 4. ウォーターPPPにおける導入準備、契約関連、履行監視の事例の紹介	下水道分野における官民連携及びウォーターPPPの具体的導入方法について学ぶ。
	処理場の包括的民間委託における履行確認	2	処理場における包括的民間委託の履行確認を担当する職員	1. 監視評価及び履行確認のポイントと課題について解説 2. 包括的民間委託の事例紹介 3. 受託者側からみた包括的民間委託制度の課題について解説	処理場の包括的民間委託における履行確認及び監視評価のポイントを習得する。

令和8年度研修コース別教科内容(案)

【オンライン研修で実施するコースです。】

オンライン研修で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間(日)	研修対象者	教科内容	研修成果
基礎 コー リス ン	技術者のための「下水道財政と公営企業」	0.5	下水道事業に携わるための下水道財政、公営企業会計を学びたい職員	1. 下水道財政についての概説 2. 公営企業法の概説と財務諸表の構成の解説 3. 下水道事業の現状と課題及び財務諸表の見方の解説	下水道事業を安定的に運営するための基幹となる下水道財政、公営企業について学び、経営基盤強化と財政マネジメントの向上に役立つ
	知って安心！処理場管理の基本	0.5	地方公共団体等で事務職・技術職を問わず、下水道を担当する方で、処理場管理が初めての方又は経験の浅い方。特に、処理場管理委託の監督者の方。	1. 下水道法(抜粋)の説明と専門用語の解説 2. 水処理と汚泥処理のしくみと設備の特徴を解説 3. 安心安全な維持管理のためのアドバイス	下水道に携わる職員が知っておくべき最低限の法律と専門用語、下水処理場のしくみと設置された設備の特徴などを正しく理解し、安心安全で適正な維持管理の職務遂行の一助とする。
	処理場設備の基礎講座	0.5	下水処理場の維持管理に初めて携わる方で機械設備及び電気設備の管理等の担当の職員	1. 下水道法の役割や汚水処理の目的などの概説 2. 下水処理に関する設備の名称・役割などについての概説 3. ストックマネジメントとデータベースの活用についての概説	下水処理場で水をきれいにするために活躍している各機械設備の名称やその設備の機能や役割について理解する。
オンライン 計画設計	下水道入門	1	新入社員や人事異動により新たに下水道業務を担当する方及び下水道に関する基礎知識を学びたい方	1. 下水道の仕組み、下水道用語等について解説 2. 下水道管まきよ、処理施設(水処理、汚泥処理)の基礎知識について解説 3. 施設の設計手法についての基礎を演習を通して解説	下水道業務を行う際の下水道用語、処理場の機能と役割等の下水道全般にわたって基礎知識を理解し、今後の実務に役立てることができる
実施 ライ ン 設計	鉄筋構造物と杭基礎のチェックポイント	1	土木職員の方で鉄筋コンクリート構造物の設計照査などを行う職員	1. 鉄筋コンクリート構造物の設計照査の方法と事例解説 2. 耐震設計、杭基礎の設計照査の方法と事例解説	実施設計における鉄筋コンクリート構造物の設計照査を習得し、設計成果品の研修を適切に行うことができる。
	開削工法の監督員業務	1	新たに下水道開削工事に携わる職員(土木職以外も含む)	1. 平面図・縦断面図の確認 2. 土留め工法の検討 3. 施工管理・安全対策と出来形管理	下水道開削工事の施工手順や工事内容を把握する技術を習得し、工事監督員の役割を把握する
維持 ライ ン 管理	省エネ法入門	1	エネルギー管理統括者/エネルギー管理企画推進者、エネルギー管理指定工場等エネルギー管理員などに従事される方。またはその補助者の方。	1. 省エネ法、温対法の概要 2. 定期報告書・中期計画書のポイント 3. 処理場のエネルギー最適化に向けた技術の紹介など	省エネ法の概要について理解し、各種届出、提出書類について、ポイントを習得し、実務に活かせる。
	水処理施設の管理指標の活かし方のチェックポイント	0.5	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 汚泥返送比、MLSS、SRTなど各指標値について解説 2. 汚泥返送比、MLSS、SRTなど各指標値の設定と水処理への効果予測の留意点について解説 3. 水処理、汚泥処理を総合した処理場運転計画の留意点について解説	活性汚泥法の反応タンクの管理指標と活用方法について学ぶ 汚泥返送比、MLSS、SRTなどが及ぼす水処理への効果を理解する
	水質管理のトラブル対応のチェックポイント	0.5	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 下水処理におけるトラブルの発生原因と対策について解説 2. 水処理のトラブルの事例と対策について解説 3. 汚泥処理のトラブルの事例と対策について解説	活性汚泥法において発生する水処理及び汚泥処理トラブル対策について学ぶ
	窒素処理トラブル解決のための活性汚泥法の考え方	0.5	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 生物学的な窒素除去法の概説 2. 窒素除去不良の現象とその原因の探求 3. 窒素除去不良対策運転方法の構築	窒素処理トラブルの現象とさまざまな実験結果から、効率的な窒素処理の管理とトラブル対応について学ぶ
	りん処理トラブル解決のための活性汚泥法の考え方	0.5	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 生物学的りん除去法の概説 2. 晴天時におけるりん除去不良時の現象と原因～酸素の形態～ 3. 晴天時におけるりん除去不良対策の構築	りん処理トラブルの現象とさまざまな実験結果から、効率的なりん処理の管理とトラブル対応について学ぶ。
	水質管理のトラブルから設計へのフィードバックの考え方	1日目 0.5 2日目 0.5	下水処理場において水処理、汚泥処理等の維持管理を担当する職員	1. 運転管理で対応できるトラブル 2. 運転管理で対応できないトラブル	活性汚泥法において発生する水処理及び汚泥処理トラブル事例から、設計へのフィードバックの考え方について学ぶ
	管路施設の包括的民間委託	1	管路施設の包括的民間委託に関心のある職員	1. 管路管理の包括的民間委託の導入状況と国からの支援状況に関する解説 2. 包括的民間委託事例紹介 3. 管路施設包括業務受託者が抱える課題と今後の運営展開について	包括的民間委託の導入導入の現状と課題について理解し、各種パッケージングやサウンディングについて学ぶ

令和8年度研修コース別教科内容(案)

【オンデマンド(動画配信)で実施するコースです。】

オンデマンド(動画配信)研修で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	配信期間(日間)	研修対象者	教科内容	研修成果
オンデマンド	下水道施設の計画・設計・施工に役立つ下水道BIM/CIM入門(前編)	8	下水道施設設計・施工・管理業務に係わる実務担当技術者。	1. 下水道BIM/CIMの概要 2. 下水道BIM/CIMで利用するソフトウェアの紹介	下水道BIM/CIMについての国の動向や活用方法について、ソフトウェアの使い方も含めて理解・習得し、実務に役立てることができる。(本コースは、BIM/CIMの概要とソフトウェアの紹介まで)
	下水道施設の計画・設計・施工に役立つ下水道BIM/CIM入門(後編)	8	下水道施設設計・施工・管理業務に係わる実務担当技術者。	1. 下水道BIM/CIMで利用するソフトウェアの使い方	下水道BIM/CIMについての国の動向や活用方法について、ソフトウェアの使い方も含めて理解・習得し、実務に役立てることができる。(本コースは、ソフトウェアの使い方のみ)
	下水道施設の計画・設計・施工に役立つ下水道BIM/CIM入門(前編・後編)	8	下水道施設設計・施工・管理業務に係わる実務担当技術者。	1. 下水道BIM/CIMの概要 2. 下水道BIM/CIMで利用するソフトウェアの紹介 3. 下水道BIM/CIMで利用するソフトウェアの使い方	下水道BIM/CIMについての国の動向や活用方法について、ソフトウェアの使い方も含めて理解・習得し、実務に役立てることができる。(本コースは、BIM/CIMの概要からソフトウェアの紹介、使い方まで)
	技術者が知っておきたい経営戦略と事業マネジメントの基本	8	下水道事業の財源・経営戦略、事業マネジメントの基本を学ぶ、経営と技術の連携に興味を抱く方。	1. 下水道に必要な費用とその財源 2. 地方公営企業と財務三表 3. 経営戦略の基本 4. 事業マネジメントと経営改善	下水道サービスを持続的に提供するために必要な経営戦略と事業マネジメントの連携の重要性、実現可能な事業実施に向けた考え方や留意点等を学ぶ。
オンデマンド	受益者負担金入門(仕組・法令編)	8	地方公共団体の職員のうち、初めて受益者負担金業務を担当する方、業務経験の浅い職員	1. 受益者負担金制度の概要 2. 受益者負担金に関する法令	受益者負担金業務に関する基礎的な仕組・法令に関する知識を学び、業務上必要とする知識を習得し業務に反映させることができる。
	受益者負担金入門(実務編)	8	地方公共団体の職員のうち、初めて受益者負担金業務を担当する方、業務経験の浅い職員	1. 受益者負担金申告書の作成、送付 2. 受益者負担金決定通知、納付書の作成送付 3. 受益者負担金の徴収猶予、減免	受益者負担金について正しく理解し、その算定業務や賦課業務を適切に行うための知識を習得し業務に反映させることができる。
	受益者負担金入門(徴収編)	8	地方公共団体の職員のうち、初めて受益者負担金業務を担当する方、業務経験の浅い方	1. 受益者負担金の賦課・徴収事務の基礎 2. 受益者負担金の滞納対策	受益者負担金の徴収担当者として業務上必要とする受益者負担金の賦課・徴収に関する業務上必要とする知識を習得し業務に反映させることができる。
	決算書作成 仕上げの総点検(講義編)	8	地方公共団体で下水道事業の決算業務を担当する職員	1. 決算書作成スケジュールの確認 2. 決算書チェックリストによる財務諸表のチェック 3. 決算書再精査による正しい決算報告書の作成	企業会計の決算において、正しく決算整理がなされているか点検のチェックポイントを習い、決算関係の書類が正しくできているか確認できる
	消費税 申告書作成のチェックポイント	8	下水道事業を実施する地方公共団体等において、下水道等の消費税の申告業務を担当する職員	1. 消費税とは 2. 消費税申告書作成事例 3. 消費税申告書のチェックポイント	下水道事業の消費税申告に必要な基礎知識を正しく修得し、消費税申告書の作成を行なうことができる。
	下水道経営入門(法令編)	8	下水道に携わる職員のうち、下水道事業の経営全般に関する基礎的知識を習得しようとする職員	1. 下水道経営について 2. 下水道法の解説	下水道の基本的な財源構成等幅広く下水道経営に必要な考え方などを学び、今後の下水道経営に関する業務に反映させることができる。
	下水道経営入門(財政編)	8	下水道に携わる職員のうち、下水道事業の経営全般に関する基礎的知識を習得しようとする職員	1. 下水道事業を運営していくための費用 2. 下水道財政の仕組み、費用負担の原則 3. 地方公営企業適用後の経理関係業務、消費税と特定収入	下水道の基本的な財源構成等幅広く下水道経営に必要な考え方などを学び、今後の下水道経営に関する業務に反映させることができる。
	下水道使用料(基礎)	8	下水道に携わる職員のうち、下水道使用料に関する基本的知識を習得しようとする職員	1. 下水道事業の経営原則、下水道使用料徴収の法的根拠、下水道使用料算定の基本的考え方 2. 下水道財政の仕組み、費用負担の原則 3. 下水道使用料算定のポイント等 3. 下水道使用料改定見直しの住民への周知など	下水道使用料のしくみについて理解するとともに、事例研究や算定演習を通して広く情報を取得し、使用料算定業務に反映させることができる。
滞納対策(基礎)	8	下水道事業を実施する地方公共団体等において、受益者負担金及び下水道使用料の賦課・徴収業務に従事している職員	1. 受益者負担金等の法的性格及び滞納整理、受益者負担金の標準条例(案)、滞納処分について 2. 徴収の基礎知識、賦課・徴収フロー、下水道使用料の徴収事務など	受益者負担金及び下水道使用料の収納の向上を図るために、使用料等の性質を正しく理解し、適切な徴収事務を行うための基本的な知識を習得する。	

令和8 令和8年度研修コース別教科内容(案)

【オンデマンド(動画配信)で実施するコースです。】

オンデマンド(動画配信)研修で実施するものとして以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	配信期間(日間)	研修対象者	教科内容	研修成果
オンデマンド	消費税(基礎)	8	下水道事業を実施する地方公共団体等において、消費税の算定・申告・納付事務に従事している職員	1. 消費税の基本的な仕組み、消費税の課税判定、消費税の計 2. 地方公共団体の特別会計が受け入れる補助金等の使途の特定収入についてなど	下水道事業における消費税制度について基礎から理解するとともに、講義や事例を通して消費税に関する会計技術を習得し、正しい申告を行うことができる。
	企業会計 予算書作成	8	下水道事業の予算業務を担当される職員	1. 企業会計予算の仕組み、企業会計予算において作成する必要がある書類、消費税と企業会計予算との関係 2. 地方公営企業法の予算書作成の実例、予算書作成のスケジュール、予算書作成の留意点など	地方公営企業法適用後の予算書作成に必要な基本知識を正しく習得し、収益的収支と資本的収支の予算、予算執行に必要な資金計画の策定、企業会計予算書に添付すべき予定開始貸借対照表の作成等について学ぶ。
	企業会計 決算書作成	8	下水道事業の決算業務を担当される職員	1. 決算書報告に関する法的根拠、財務書類、決算仕訳の具体的方法、決算報告書作成事務手続き・日程について 2. 決算書作成の流れ、決算整理のポイントなど	地方公営企業法適用後の決算書作成に必要な基本知識を正しく習得し、法適用後の決算書作成業務に反映させることができる。
	決算と消費税	8	下水道事業において決算を担当し、決算書作成や消費税の申告書の作成事務に従事している職員	1. 消費税の仕組み、下水道事業における特定収入について 2. 消費税算定の手順申告書作成の具体的な事例など 3. 消費税の基礎、消費税申告のスケジュール、財源充当の考え方、下水道事業決算と消費税申告書作成の手順の説明など	下水道事業における決算の取りまとめと消費税申告書の作成が習得できる。

令和8年度研修コース別教科内容(案)

【地方研修のコースです。】

地方研修として以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間 (日)	研修対象者	教科内容	研修成果
地 経 方 営 研 修	滞納対策	1	下水道を実施する地方公共団体等において、受益者負担金及び下水道使用料の賦課・徴収業務に従事している職員	1. 下水道事業経営の現状と滞納等の課題について 2. 使用料、受益者負担金の性格と滞納処分について 3. 収納率向上と滞納対策の具体策について 4. 滞納対策に関するQ&A	受益者負担金及び下水道使用料の収納の向上を図るために、使用料等の性格を正しく理解し、適切な徴収事務を行うための基礎的な知識を習得する。
	受益者負担金	1	下水道を実施する地方公共団体等において、受益者負担金の算定及び賦課・徴収事務に従事している方。受益者負担金の基礎的な知識を習得済の方	1. 受益者負担金制度の概要について 2. 受益者負担金の現状と課題について 3. 受益者負担金に関する問題点について 4. 受益者負担金に関するQ&A	下水道事業の受益者負担金について正しく理解し、その算定と徴収について適切な事務を行うための知識を習得する。
	企業会計入門	1	下水道事業を実施する地方公共団体等において、下水道経営等の業務を担当する方	1. 地方公営企業における企業会計の役割と仕組み 2. 地方公営企業の基礎知識「予算」 3. 地方公営企業の基礎知識「決算」及び「消費税」 4. 下水道事業経営の現状と課題及び経営改革の取り組み	下水道事業の経営に必要な業務について、基礎知識を正しく習得し、効率的な事業の執行を行うことができる。
	下水道使用料改定	1	地方公共団体で下水道使用料業務に携わる職員の方	1. 現状の把握・分析、何がいくら足りないのか 2. 財政計画の策定、どのような資料を作成するのか 3. 下水道使用料体系の検討 4. 使用料水準の具体的なイメージを示すシミュレーション	下水道事業の歳入の根幹である下水道使用料が適正な水準になっているか、また、使用料お改定の際に増収を図るにはどのような工夫が必要か学び、経営基盤の強化を図る。
	企業会計 (予算書作成)	1	地方公共団体等において、下水道事業の企業会計の予算書作成を担当する人	1. 企業会計予算の仕組み及び作成する必要がある書類について 2. 予算書作成の留意点について 3. 消費税と企業会計予算との関係 4. 予算書作成事例	企業会計を導入している下水道事業の予算書作成に必要な基礎知識を正しく習得し、収益的収支と資本的収支の2本立て予算、かつ予算執行に必要な資金計画の策定、企業会計予算所に添付すべき予定開始貸借対照表の作成等について学ぶ。
	企業会計 (決算書作成)	1	地方公共団体等において、下水道事業の決算書作成業務を担当する人	1. 日常会計処理と財務諸表との関係及び決算整理 2. 決算調整事務のスケジュール及び留意事項 3. 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書 4. 決算書作成事例	企業会計移行後の決算書作成に必要な基礎知識を正しく習得し、一会計年度の歳入歳出予算の執行の結果・実績を表示する決算書の作成、および法適用に伴い、決算書作成時に消費税申告などの必要な留意点について詳しく学ぶ。
	決算と消費税入門	1	地方公共団体等において、下水道事業の地方公営法適用後に決算書作成業務を担当する人	1. 公営企業会計において作成する財務諸表 2. 日常の会計処理と財務諸表との関係 3. 下水道事業における消費税法の基本的な知識及び特定収入について 4. 下水道事業の消費税計算－申告書作成事例－	地方公営法適用後の決算書作成に必要な基礎知識を正しく習得し、一会計年度の歳入歳出予算の執行の結果・実績を表示する決算書の作成、および法適用に伴い決算書作成時に消費税申告に必要な留意点について詳しく学ぶ。
	決算と消費税	1	地方公共団体等において、下水道事業の決算書作成業務を担当する人	1. 下水道事業における消費税法の基本的な知識 2. 下水道事業と特定収入について 3. 下水道事業決算と消費税申告書作成の手順の説明 4. 下水道事業における消費税の算定と申告書の実例について	企業会計移行後の決算書作成に必要な基礎知識を正しく修得し、一会計年度の歳入歳出予算の執行の結果・実績を表示する決算書の作成、及び法適用に伴い、決算書作成時に消費税申告などの必要な留意点について詳しく学ぶ。

令和8年度研修コース別教科内容(案)

【地方研修のコースです。】

地方研修として以下の講座を設けることを検討しています。

コース	専攻	研修期間 (日)	研修対象者	教科内容	研修成果
維地 持方 管研 理修	基礎から学ぶ処理場の 維持管理	1	地方公共団体等で事務職・技術職を問わず、 下水道を担当する方で、維持管理経験の浅い 方。特に、処理場の民間委託業務の監督者に 任命されている方	1. 下水道法、専門用語や下水道のしくみ 2. 水処理のしくみ運転管理のポイント 3. 汚泥処理のしくみと運転管理のポイント 4. コストを考えた設備の保全管理と管理委託	下水道に携わる職員が知っておくべき最低限の法律、下水 道処理場のしくみ、専門用語、運転方法と施設管理などを正 しく理解し、法的にもコスト的にも適正な維持管理の職務遂 行(委託の監督管理業務を含む)に資する。
	求められる 下水道管路施設の維持管理	1	地方公共団体等で事務職・技術職を問わず、 下水道を担当する方で、維持管理経験の浅い 方。特に、下水道管路施設の維持管理を担当 されている方	1. 下水道管路施設の基礎 2. 求められる下水道管路施設の維持管理 3. マンホール蓋の維持管理と更新、管きよの点検と調 査手法入門 4. 管更生工法を考える[自立管と複合管について]	下水道管路施設の維持管理を効率的に実施していくうえで、 必要な基礎知識を正しくバランスよく習得することができる。
	下水処理場の包括的民間委託 の基礎知識	1	地方公共団体等で下水処理場の維持管理を 担当している人	1. 包括的民間委託の概説 2. 包括的民間委託の事例研究	下水処理場の設備について、維持管理を起点とする設備の 維持管理に関するマネジメントを学ぶ。また、処理場の包括 的民間委託の導入事例、履行監視の事例研究および包括の メリット・デメリット等について学ぶ。